

普及情報

分類名〔病害虫〕

情5	ダイズのおオタバコガとウコンノメイガに対するフルキサメタミド乳剤の防除効果
----	---------------------------------------

宮城県古川農業試験場

要約

フルキサメタミド乳剤は、ダイズのおオタバコガとウコンノメイガに対して高い防除効果を示し、フタスジヒメハムシに対して防除効果が認められる。

普及対象：ダイズ栽培農家
普及想定地域：県内全域

1 取り上げた理由

フルキサメタミド乳剤は、新たに開発された有効成分を含む殺虫剤で、近年、チョウ目害虫等を対象に農薬登録がなされている。そこで、ダイズのおオタバコガとウコンノメイガ及びフタスジヒメハムシに対する散布試験を実施し、その防除効果を明らかにしたので、普及情報とする。

2 普及情報

- (1) おオタバコガに対して、フルキサメタミド乳剤は、対照薬剤と比較して防除効果が高く、無処理と比較して高い防除効果を示す（図1）。
- (2) ウコンノメイガに対して、フルキサメタミド乳剤は、対照薬剤と同等の防除効果が認められ、無処理と比較して高い防除効果を示す（図1）。
- (3) フタスジヒメハムシに対して、フルキサメタミド乳剤は、対照薬剤と比較して防除効果が高く、無処理と比較して防除効果が認められる（図2）。

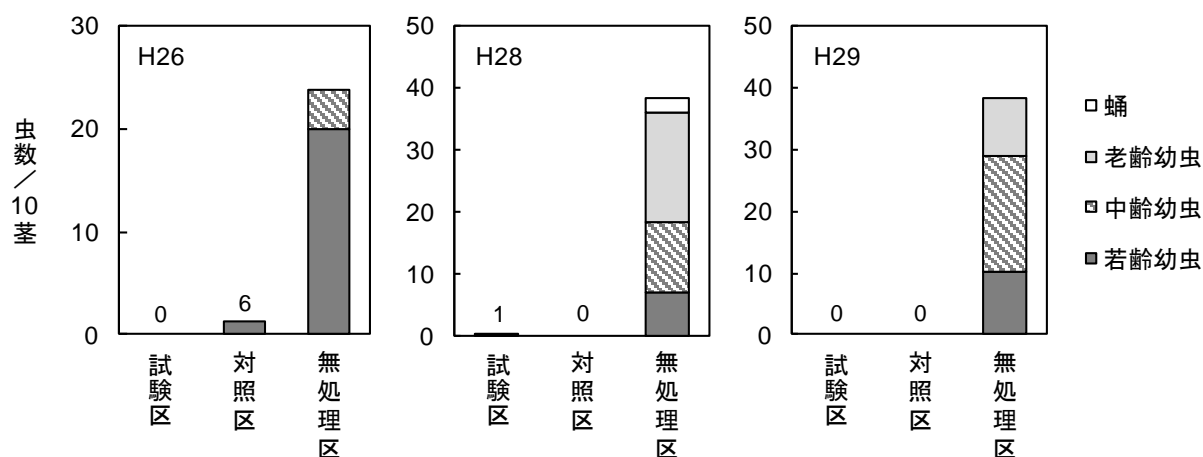


図1 ダイズのおオタバコガ(左)とウコンノメイガ(中、右)に対するフルキサメタミド乳剤の防除効果

注1) 試験区 フルキサメタミド乳剤（商品名：グレーシア乳剤）3000倍，
対照区 H26：BT水和剤（商品名：サブリーナフロアブル）500倍，
H28・29：クロラントラニリプロール水和剤（商品名：プレバソンフロアブル5）4000倍
散布量 H26：100L/10a，H28：200L/10a，H29：150L/10a

注2) 耕種概要 品種：タンレイ，播種日：H26年7月8日，H28年5月23日，H29年5月23日

注3) H26年は散布3日後，H28・29年は散布7日後のデータを示す。

注4) 図中の数字は補正密度指数を示す。補正密度指数 = $(Ta \times Cb) / (Tb \times Ca) \times 100$

Ta：処理区の散布後虫数，Tb：処理区の散布前虫数，Ca：無処理区の散布後虫数，Cb：無処理区の散布前虫数

3 利活用の留意点

- (1) フルキサメタミド乳剤の商品名は「グレーシア乳剤」である。
- (2) 薬剤の使用に当たっては、最新の登録情報を確認する（表1，独立行政法人農林水産消費安全技術センタートップページ：<http://www.famic.go.jp/>）
（問い合わせ先：宮城県古川農業試験場 作物環境部 電話 0229-26-5107）

4 背景となった主要な試験研究の概要

- (1) 試験研究課題名及び研究期間
新農薬による病害虫防除に関する試験（平成26・28・29年度）
- (2) 参考データ

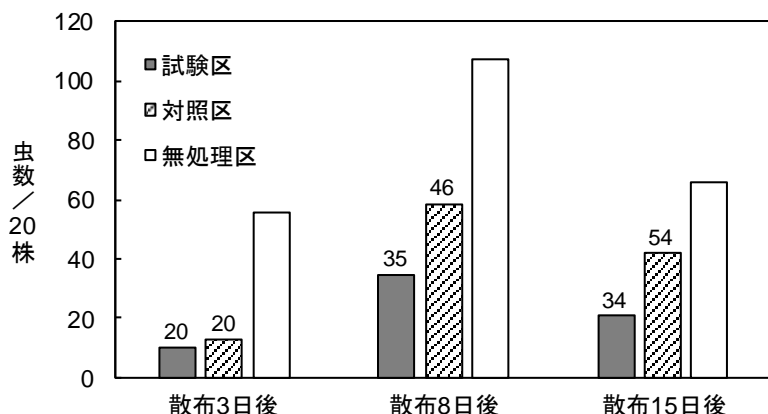


図2 ダイズのフタスジヒメハムシに対するフルキサメタミド乳剤の防除効果（平成28年）

- 注1) 試験区 フルキサメタミド乳剤（商品名：グレーシア乳剤）2000倍
対照区 ジノテフラン液剤（商品名：スタークルメイト液剤10）1000倍
- 注2) 耕種概要 品種：タンレイ，播種日：5月23日
- 注3) 図中の数字は補正密度指数を示す。

表1 グレーシア乳剤のダイズにおける使用方法（令和2年2月現在）

作物名	適用病害虫	希釈倍数	使用方法	使用時期	使用回数	散布液量	フルキサメタミドを含む農薬の総使用回数
だいず	フタスジヒメハムシ	2000~3000倍	散布	収穫14日前まで	2回以内	100~300L/10a	2回以内
	ハモグリバエ類						
	ウコンノメイガ						
	オオタバコガ						
	マメシンクイガ						
ハスモンヨトウ							

(3) 発表論文等

イ 関連する普及に移す技術

- (イ) ダイズのマメシンクイガに対するフルキサメタミド乳剤およびクロラントラニリプロール水和剤の防除効果（普及に移す技術第94号普及情報）
- (ロ) ダイズほ場におけるタバコガ類幼虫の発生消長（普及に移す技術第94号参考資料）
- (ハ) ウコンノメイガの被害解析と要防除水準（普及に移す技術第90号参考資料）

ロ その他

なし

(4) 共同研究機関

なし